

一般質問

9月定例会



門 眞一郎 議員

Q 畜産振興にどう取り組むのか

宮城全国和牛能力共進会へ出場出来なかった。和牛農家の皆さんはこの5年の間努力を重ね、和牛改良に努めて来られた。競い合っていた奥出雲町の状況を把握しきれていなかったことが敗因の一つと思われ、残念だ。

畜産の状況は高齢化により飼養農家は減少の一途である。これを打開するための後継者の育成が急務となっている。高齢化が進む中、5年後の鹿児島全共には後継者組織である飯南GYU・牛会の皆さんは絶頂期を迎えるが、これをどう育てるか本町の和牛振興の力ギと考える。

5年後を目指し、直ちに行動を起こすべきであるが、どう対策をとるのか。

A 目標を掲げ、次は必ず勝つ

町長 山崎英樹

全国和牛能力共進会での成績が枝肉価格に反映される。



9月1日の町共進会

このたびの結果は残念だ。しかし、すでに次に向け、取り組みを始めている。9月1日には町畜産共進会を開催し、関係者一丸となって再起を誓った。

飯南GYU・牛会の皆さんには今回の経験を生かして畜産を背負っていただきたい。町はしっかりと支援を行う考えだ。

受精卵移植事業による移植200頭の目標設定・本町独自系統確立のための育種方針策定・集畜管理による育成技術の向上を掲げ、担い手の研鑽を図りながら、5年後は必ず出場を勝ち取る。

Q 飯南ブランド、強化が必要

本町は売れる米づくり事業としてエコロジームの普及に努め、毎年うまい米コンテストを開催しながら食味向上を図り、地道な営業を行ってきた。

ブランド化は出口対策として不可欠な戦略で、今後も維持していかなければならないと思うが、どう考えるか。



飯南カントリーエレベーター

A しまねブランドも検討する

町長 山崎英樹

J Aは、コメの需要は品質ではなく、ブランドによる差が大きいと言っている。

従来より「飯南町丸ごとブランド化」を基本と考え、消費者に飯南の米なら食べてみたいと思っていただけのまちづくりを進めてきた。大しめ縄やサイクリングなど、本町自体の魅力を高める活動を展開している。

「いーちゃん」をプリントした段ボールでパブリカとトマトの出荷を始めた。一層産地化・ブランド化を進めなければならない。

しかし、激化する産地間競争や、より大きな市場の獲得のため、しまねブランドも考える必要があると思っている。

一般質問

9月定例会



高橋 英次 議員

U・Iターンのきつかけづくり

Q 三十路式の有効活用を

若者定住促進につながるU・Iターンのきつかけづくりについて、質問と提案をする。

第2次飯南町総合振興計画の中に、基本施策の定住の促進として、U・Iターンの取り組みについての説明がある。また、飯南町総合戦略の中にも政策としてU・Iターンが取り上げられている。それらの中には、U・Iターンのきつかけづくりとして、新規事業の「三十路式（みそじしき）」を行うとある。大変有意義な事業であると期待するが、「三十路式」の参加人数と参加率、またこれをきつかけとしてU・Iターンされた方の人数を問う。

A 対策などを説明

町長 山崎英樹

昨年度における本町のU・Iターンは、過去最高の53名であった。

「三十路式」は平成26年に、雲南市・奥出雲町・飯南町と雲

南広域連合の若手職員で、人口の社会増に結び付く提案を検討する中で出た意見だ。

今年で3回目である。平成27年度は、対象者84名・参加者42名で50%。平成28年度は、対象者98名・参加者33名で34%。本年度は、対象者70名・参加者32名の46%になっている。

「三十路式」が直接のきつかけで、Uターンのをしたという事は確認できていないが、式には定住担当が出かけ、本町の定住対策・子育て支援策などを説明している。



本年8月15日の「三十路式」

Q 二十五歳の会でさらなる効果を

「成人式」から「三十路式」までの10年間には、若い人たちにとって人生の転換期とも言える機会が訪れるのではないかと思う。

厚生労働省の調査では、大学を卒業した新卒社員の内、3割の人が3年以内に仕事を辞めていて、この10年間3割という数字は概ね続いていると報告されている。年頃になれば25歳前後になるのではないかと思われる。このタイミングで、例えば、「二十五歳の会」などの交流会を開き、定住促進の情報などを提供すれば、若い人の背中をもう一押しするのではないか。



「三十路式」で再会を楽しむ

A もう少し現状で進めたい

町長 山崎英樹

「三十路式」については、若い人でいろいろ検討をしている。

その一つに、「成人式」の時に10年後の自分へということ、タイムカプセルを作り、「三十路式」でそれを開くというアイデアも出ている。

25歳の節目でということであるが、「三十路式」もまだ始めて3年目でもあり、「成人式」と連携してのアイデアも出ているので、もう少し今の形で進めさせて頂きたい。

提案についてはいろいろと検討して参りたい。